

この表で見ても明かきやうに、労働者の定額賃金は引續き低下してゐるのに、物價はドンドン上つてゐる。それにと拘らず日本の労働者は國家非常時だといふので、忍べるだけは忍んでゐる。殊に滿洲事變突發するや階級闘争の塊りのやうに言はれてゐる労働者が自發的に國防献金をしてゐる。

この事實の前に、インフレの春に酔つてゐる日本の資本家は之を何と見るか、資本主義の行船りにあへいでゐるヨーロッパ諸國が、日本は不當に安く賃銀、過長労働時間、正當なる社會立法上の負擔の回避等によつて、日本の商品は正にソシアルゲンピングだと言つてゐる。ソシナニとは英國の政治的言葉であるとして虎牙にかけむいことでも、この日本の労働者を前にして、日本の資本家はドワするか。

今や日本の労働階級は手を拭いておてはせらぬ。日本の國家産業のためにと躍起して、労働組合の擴大強化と闘はせらぬ。

労働組合は單に労働者の利害を代表するのみでなく、腐敗と墮落を極める現産業組織を改造して、すべての産業人が渾然協同し得る理想的産業組織を發行するのが労働

組合の建設的使命である。

然るに日本の労働組合の現状や如何（組織部報告書「労働組合統計参照」）我等は奮起せしめねばならぬのである。

我が日本労働組合總聯合は堅實にとその創立の最初の日より高く掲げた「労働組合主義の徹底」と期し、更に「労働組合統一戦線の樹立」に直撃する努力を揮はせねばならぬ。

頃は今櫻花爛漫たる春である。しかし乍ら労働者の春は動花来りつつあるか。

悠久限りなき日本國家の將來を思ひ、我等が燃ゆるが如き熱情と、合掌するが如き敬虔の念を以て本大會の重大なる使命を遂行せんことを切望するのである。